

経営体力を強め、健全性の保持に努めています。

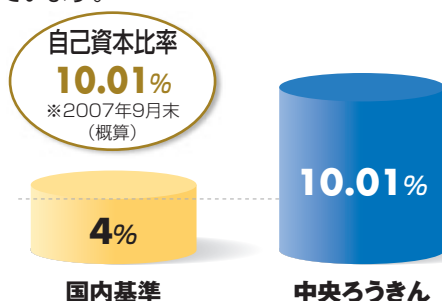
経営体力

自己資本比率は、金融機関の自己資本の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として法令により定められた指標です。

〈中央ろうきん〉のように国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は法令で4%以上(国内基準)であることが求められています。

〈中央ろうきん〉の2007年9月末の自己資本比率は2007年3月末(9.98%)に比べて0.03ポイント上昇し、**10.01%**(概算)となっています。つまり、安心してお取引いただける金融機関であることを表しています。

なお、自己資本のうち、基本的項目(Tier1)が占める割合(Tier1比率)は、9.46%(概算)となっています。基本的項目(Tier1)は、出資金・利益準備金・特別積立金等で構成されており、自己資本に占める割合が高ければ、より健全性が高いといえます。



自己資本比率

(単位:百万円)

| 項目 | 2007年9月末(概算) | 2007年3月末 | 2006年9月末(概算) |
|---------------------------------|--------------|-----------|--------------|
| 基本的項目 (A) | 193,588 | 189,217 | 185,356 |
| 補完的項目 (B) | 11,212 | 10,918 | 10,022 |
| 控除項目 (C) | — | — | — |
| 自己資本合計 (A) + (B) - (C) = (D) | 204,800 | 200,135 | 195,378 |
| リスクアセット (E) | 2,044,974 | 2,003,586 | 2,372,323 |
| 単体自己資本比率 (D) / (E) | 10.01% | 9.98% | 8.23% |
| Tier1比率 (A) / (E) | 9.46% | 9.44% | 7.81% |

(注1) 労働金庫においては、中間決算を法定されておきませんが、内部規定に基づき、期末決算(3月末)に準じた仮決算を行っております。上記の2007年9月末(概算)の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算出した概算値です。

(注2) 2007年9月末(概算)と2007年3月末は「平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号」(新基準)に基づき算出し、2006年9月末(概算)は「平成9年大蔵省・労働省告示第1号」(旧基準)に基づき算出しています。



経営の健全性

経営の健全性をはかる一つの指標としてリスク管理債権比率があります。リスク管理債権とは、何らかの理由により約定どおりの返済が困難な取引先に対する貸出金のことです。リスク管理債権比率とは、貸出金残高に対してリスク管理債権額がどれだけあるかを示したものです。この比率が低いほど、資産の健全性が高いことを示しています。

〈中央ろうきん〉の2007年9月末のリスク管理債権比率は**1.34%**（概算）ときわめて低く、健全性の高さが数値に表れています。

リスク管理
債権比率
1.34%
※2007年9月末
（概算）

リスク管理債権比率

（単位：百万円）

| 項目 | 2007年9月末（概算） | 2007年3月末 | 2006年9月末（概算） |
|----------------------------------|--------------|-----------|--------------|
| 破綻先債権 (A) | 2,195 | 1,855 | 3,219 |
| 延滞債権 (B) | 32,944 | 29,216 | 28,395 |
| 3ヵ月以上延滞債権 (C) | 1,981 | 2,082 | 1,754 |
| 貸出条件緩和債権 (D) | 3,784 | 3,993 | 4,181 |
| リスク管理債権合計 (A)+(B)+(C)+(D)=(E) | 40,906 | 37,148 | 37,551 |
| 貸出金残高 (F) | 3,033,111 | 2,986,160 | 2,933,994 |
| リスク管理債権比率 (E)／(F) | 1.34% | 1.24% | 1.27% |

金融再生法ベースの開示債権

（単位：百万円）

| 債権区分 | 2007年9月末（概算） | 2007年3月末 | 2006年9月末（概算） |
|------------------------------------|--------------|-----------|--------------|
| 破産更生債権及び これらに準ずる債権 (A) | 14,998 | 14,422 | 16,745 |
| 危険債権 (B) | 25,312 | 22,060 | 20,690 |
| 要管理債権 (C) | 5,766 | 6,076 | 5,936 |
| 金融再生法ベースの開示債権合計 (A)+(B)+(C)=(D) | 46,077 | 42,559 | 43,371 |
| 正常債権 (E) | 3,000,609 | 2,956,615 | 2,904,961 |
| 合計 (D)+(E)=(F) | 3,046,686 | 2,999,175 | 2,948,332 |
| 金融再生法ベースの開示債権比率 (D)／(F) | 1.51% | 1.41% | 1.47% |

（注）金融再生法ベースの開示債権では、貸出金のほか、債務保証見返、与信関係未収利息、仮払金などを含まます。